

授業科目(ナンバリング)	スポーツ医学(CC302)			担当教員	末永貴久・廣田昌彦 ※小出光秀・※橋口浩治		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
スポーツ指導者に必要となる医学的知識を理解し、スポーツ活動中に多い各種の疾患についてその発症と進展の予防及び治療法を身につける。							②⑩⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ現場でケガが発生した時に適切な対応ができる。 ・予防医学に関する知識を活用することができる。 ・授業で指示された内容に応じた課題の作成ができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・実演テスト ・課題成果物 		40%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・学生としてふさわしい態度で意欲的に取り組み、課題を提出することができる。 ・スポーツ医学に関する様々な領域に関して、満遍なく理解することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・受講態度、課題提出状況 ・レポート 		30% 30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業の参加態度や積極性（指示された課題提出状況を含む）（評価比率 30%）、担当教員から与えられたレポートの評価（評価比率 30%）、スポーツ医学に関わる各種実演テスト（評価比率 20%）、および各授業で提出された各課題の内容（評価比率 20%）を総合評価する。受講者の実演テストに関しては、個別にフィードバックを実施する。また、課題レポートに関しては適宜フィードバックする。</p>							
授業の概要							
<p>講義のプリントを中心に、パワーポイント、ビデオ等の視聴覚教材も多く使用する。 オムニバス方式で講義する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、120分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。 参考書：特に指定しない。 指定図書：「スポーツ指導者のためのスポーツ医学」改訂第2版 小出清一 他 南江堂</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>スポーツに関する医学の幅広い知識を身につけて将来に役立ててほしい。 特に医学的な分野を学ぶことから、受講学生は健康への意識を高め、スポーツの有効性や安全性についての情報に積極的に触れて欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション スポーツと健康	授業の説明および評価方法、スポーツ指導者と医学、加齢現象、スポーツ活動の必要性（末永）	事前にシラバスを確認する。 健康管理に関する資料を集める。
2	アスリートの内科的スポーツ障害と対策(1)	急性障害（突然死、意識障害、循環障害、運動誘発性喘息、運動誘発性アナフィラキシー、自然気胸、低・高圧障害、減量・過食障害）（廣田）	内科的スポーツ（急性）障害に関する資料を集める。授業後は課外活動等で確認する。
3	アスリートの内科的スポーツ障害と対策(2)	急性障害（特に、運動時側腹部痛くその他の腹痛>、熱中症<熱疲労、熱痙攣、熱射病>、過換気症候群、高山病等）（廣田）	内科的スポーツ（急性）障害に関する資料を集める。授業後は課外活動等で確認する。
4	アスリートの内科的スポーツ障害と対策(3)	慢性障害（貧血、オーバートレーニング）、その他の障害（蛋白尿、血尿、糖尿病、てんかん、無月経）（廣田）	内科的スポーツ障害（慢性）に関する資料を集める。授業後は課外活動等で確認する。
5	ドーピングの防止	ドーピングの実態と防止策（廣田）	スポーツとドーピングに関する資料を集める。授業後は、課外活動等で防止策を講じる。
6	スポーツ医学と境界領域の知識	眼科、皮膚科、耳鼻科、歯科（廣田）	スポーツに関連する境界領域についての資料を集める。授業後は課外活動等で確認する。
7	救急処置(1)	心肺機能蘇生法（廣田）	救急処置に関する資料を集める。授業後は、課外活動等で確認する。
8	救急処置(2)	内科系および外科系救急処置（廣田）	救急処置に関する資料を集める。授業後は、課外活動等で確認する。
9	アスリートの外傷・障害と対策(1)	下腿・足部（捻挫、疲労骨折、アライメント異常）、膝（靭帯損傷、半月損傷、軟骨障害） 大腿・股関節（肉離れ、剥離骨折）、腰椎（腰痛、椎間板）のスポーツ障害（小出）	下肢外傷・障害に関する資料を集める。 授業後は、課外活動等で確認する。
10	アスリートの外傷・障害と対策(2)	頭部・頸椎（意識障害、脊髄損傷）、肩・上腕（脱臼、インピンジメント）、肘・前腕・手（投球肘、骨折の変形）のスポーツ障害（小出）	上肢外傷・障害に関する資料を集める。 授業後は、課外活動等で確認する。
11	アスリートの外傷・障害と対策(3)	ぎっくり腰、こむらがり、捻挫、慢性的な膝障害、慢性的な肘障害（小出）	外傷・障害に関する資料を集める。授業後は、課外活動等で確認する。
12	運動障害の実際と予防	スポーツ活動中に実際に多いケガや病気について学ぶ。特に外傷、障害、炎症、創傷治癒、自覚症状と他覚徴候（橋口）	運動障害に関する資料を集める。授業後は、課外活動等で確認する。
13	コンディショニングの手法	アスレティックトレーナー、ストレッチング・テーピング・スポーツマッサージ・アイシングの目的とその効果、留意点、具体的方法（橋口）	コンディショニングに関する資料を集める。授業後は、課外活動等で実践する。
14	リハビリテーション	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画（橋口）	リハビリテーションに関する資料を集める。授業後は、課外活動等で実践する。
15	特殊環境下での対応とトレーニング計画 授業のまとめ	暑熱対策、低温（寒冷）対策、高地対策、時差対策、感染症対策（橋口） 授業のまとめ（末永）	トレーニング計画に関する資料を集める。授業後は課外活動等で実践する。